

	卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 育ちと学びの心理学 ナンバリング：2202	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：加藤達矢 担当形態：単独
科目／系列	教育の基礎的理解に関する科目／保育の対象の理解に関する科目			
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ／保育の心理学			
授業の到達目標及びテーマ 1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関わる外的・内的要因、発達理論を理解し、幼児教育・保育における発達理解の意義を説明できる。 2. 乳幼児期から青年期における運動、言語、認知、社会性の発達の具体的内容を説明できる。 3. 学習の形態、概念、その過程等、学習に関する基礎的知識を理解しており、乳幼児の発達を踏まえた主体的学習を支える指導の在り方について説明できる。				
授業の概要 幼児教育・保育の実践のためには、人間の生涯発達について理解し、乳児期、幼児期、児童期、青年期の運動、言語、認知、社会性の発達について具体的に理解していることが重要である。本授業では、まず子どもの心身の発達に関わる外的・内的要因、発達理論について学び、幼児教育・保育における発達理解の意義について学ぶ。その上で、乳幼児期の身体機能、運動機能、情緒、自己、言語、認知、社会性の発達について、その過程や特徴について学び、幼児教育・保育における子どもの発達への援助について考える。さらに、学習の形態、概念、その過程など学習に関する基礎的知識を学び、乳幼児期の心身の発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の在り方についても実践的に考えていく。				
授業計画 第1回：幼児教育・保育における発達理解の意義と発達理解の方法 第2回：乳幼児の発達に関わる外的・内的要因と理論 第3回：生涯発達における発達段階と課題 第4回：胎児期・新生児期の発達 第5回：乳幼児期の身体機能、運動機能の発達 第6回：乳幼児期の愛着、情緒、自己の発達 第7回：乳幼児期の言語の発達 第8回：乳幼児期の認知の発達 第9回：乳幼児期の社会性の発達 第10回：児童期の運動、言語、認知、社会性の発達 第11回：青年期の運動、言語、認知、社会性の発達 第12回：成人期から老年期の発達 第13回：乳幼児期の発達と学習－学習形態、概念、過程－ 第14回：幼児の主体的学習を支える指導とかかわり －動機づけ、集団づくり、学習評価、指導の在り方－ 第15回：個人差や発達課題に応じた指導と援助 定期試験：筆記			授業時間外の学習 ・授業前に配布資料、参考文献等をもとに学習し、関心のある点、疑問点を整理しておく。疑問点については、調べておく。 ・授業後は配布資料や参考文献等により関心のあるテーマについての理解をさらに深め、学習した内容についてまとめておく。 ・授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。	
授業の方法 講義、グループでの演習やワーク。小レポートにコメントを入れて返却する。				
テキスト なし。授業時に適宜プリントを配布する。				
参考書・参考資料等 授業において指示する				
学生に対する評価 授業参画度 (30%)、小レポート (20%)、定期試験 (50%)、評価はルーブリックに準じる。				
履修上の注意 受講にあたっては、配布資料、参考文献等を参考に事前事後の学習を行い、グループでの演習には積極的に取り組むこと。				
実務経験の有無	有	実務経験	精神科クリニック勤務 (臨床心理士、公認心理師)	
実務経験を活かした教育内容 精神科クリニック勤務の経験を活かして、実践的な講義を行う。				